

教科名	数学	科目	数学Ⅲ（特進理系）	週授業時間	5 単位
-----	----	----	-----------	-------	------

1. 教科書および副教材・参考書

改訂版 高等学校 数学Ⅲ（数研出版）

改訂版 4プロセスⅢ（数研出版）

2. 授業の目標および内容

1学期は第5章，第6章，第7章を扱う。確認テストを実施することで理解の定着を確実に図りたい。また、2学期からは数学Ⅲの内容を中心に大学入試演習を始める。事前に扱う問題を配布し、予習を前提として授業を行う。1学期は私大の中堅校や地方国公立大レベルの問題を中心に演習する。

2学期の授業では1学期に引き続き数学Ⅲの内容を中心とした入試演習を行う。扱う問題の難易度を少し上げ、私大の中堅～上位校、地方国公立～旧帝大、医学部までのレベルの問題も扱う。

教科書を早期に終わらせることで、夏休み以降に過去問演習等で自習できる環境を整えつつ、入試問題で頻出・必出であるトピックスを数多く扱うことで現役合格を目指すための十分な知識や思考力を身に付けることを目標とする。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	なし
学力試験	第 1 回 6 月		第 2 回 9 月		なし

内容・難易度について

- ① 定期試験：試験時間は 50 分とし、授業で扱った問題の類題を中心として出題するので難易度は大学入試問題と同程度である。
- ② 学力試験：試験時間は 50 分とし、授業の内容からやや発展させ、応用力を問う出題とする。試験範囲は原則として入学当初から学習した事全てとする。

4. 評価の視点

$$1 \cdot 2 \text{学期} : 1 \text{次テスト素点} + 2 \text{次テスト素点} / 2 \pm \alpha$$

※ α は授業態度、提出物等を考慮して決定する。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	第6章 微分の応用 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用	第1節 導関数の応用 1. 接線の方程式 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数のグラフ 第2節 いろいろな応用 5. 方程式, 不等式への応用 6. 速度と加速度 7. 近似式 ・不定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分 ・定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・定積分のいろいろな問題 ・面積/体積/道のり ・曲線の長さ 入試問題演習 ・極限 ・微分法 ・積分法 など	
2	全分野 (数学Ⅲ中心)	入試問題演習 ・極限 ・微分法 ・積分法 など	独自プリントを使用